

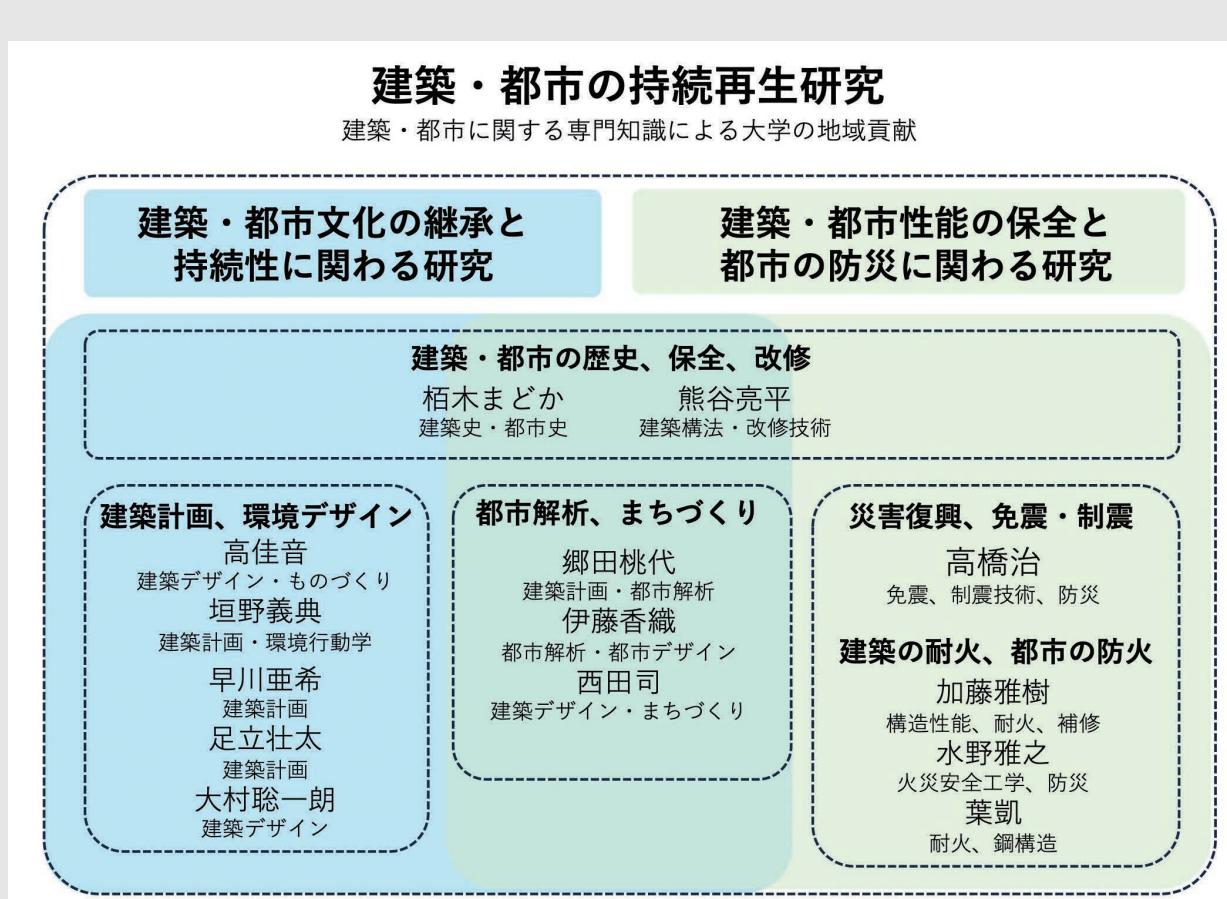
都市持続再生研究部門における大学の地域貢献

研究推進機構 総合研究院 都市持続再生研究部門

▶ 研究概要

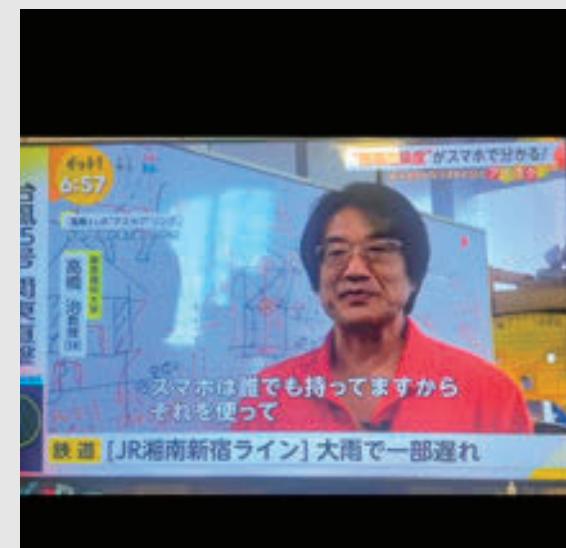
建築都市持続再生部門は、社会変化や環境問題に対応した持続可能で快適な都市空間の創造を目指し、2025年4月に創設されました。本部門では、建築の計画・構法・歴史・耐火・免震から都市計画まで、幅広いスケールの専門分野で連携し、地域の歴史資源活用から最新技術による構造補強まで、大学と地域・都市環境の連携を目指します。今日の都市環境、都市生活に関わる複合的・相関的な課題を克服するため、持続可能な都市空間の形成・再生を導く新たな統合的知の体系「建築・都市空間の持続再生学」を開拓、深化させることを目的としています。

「先端都市建築研究部門」（2014～2018）、「先端都市防災研究部門」（2019～2023）から引き継ぐ地域研究活動の蓄積をベースに、キャンパスのあるエリアから日本各地まで、研究機関・自治体・企業等との共同研究ネットワークを拡充し、東京理科大学における建築・都市・まちに対しての活動をつなぎ、大学の地域への貢献を見る形で発信する主体となることを目指します。



アプリ「被害ナビ」がテレビ番組で紹介

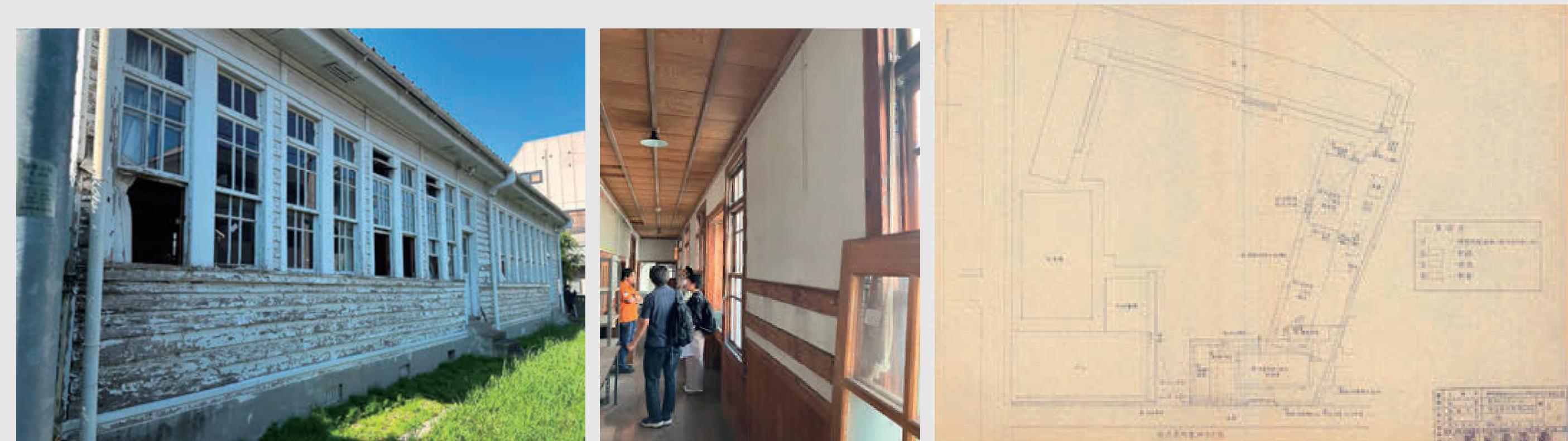
- スマートフォンで建物の倒壊危険度を手軽に確認できるアプリ「被害ナビ」が、2025年9月5日（金）放送のフジテレビ報道番組「Live News イット！」内「アスヨク！」にて取り上げられました。



▶直近のトピック

葛飾

- 旧教育資料館（旧水元小学校校舎）再生計画** 大正14年築、葛飾区指定文化財である木造校舎は、近年まで区立教育資料館として使用されていましたが、耐震性の問題から休館し、閉鎖されておりました。研究部門教員と、施設を管理する葛飾区郷土と天文の博物館館員とで、耐震性の向上と葛飾区指定文化財としての活用を検討中です。
- まちづくり活動を担う一般社団法人「**金町みらい協議会**」と協力し、地域住民との交流および地域拠点としての公園計画に参加



富山

- 富山県産材を用いた耐震シェルター開発** 2024年1月の能登半島地震の被災地である富山で、富山県木材研究所と県産材を用いた耐震シェルターを開発中
- 本年は、木質耐震シェルターのおもり落下試験を実施し、性能評価と改良を進めています



▶継続している活動の広がり

「先端都市建築研究部門」（2014～2018）、「先端都市防災研究部門」（2019～2023）

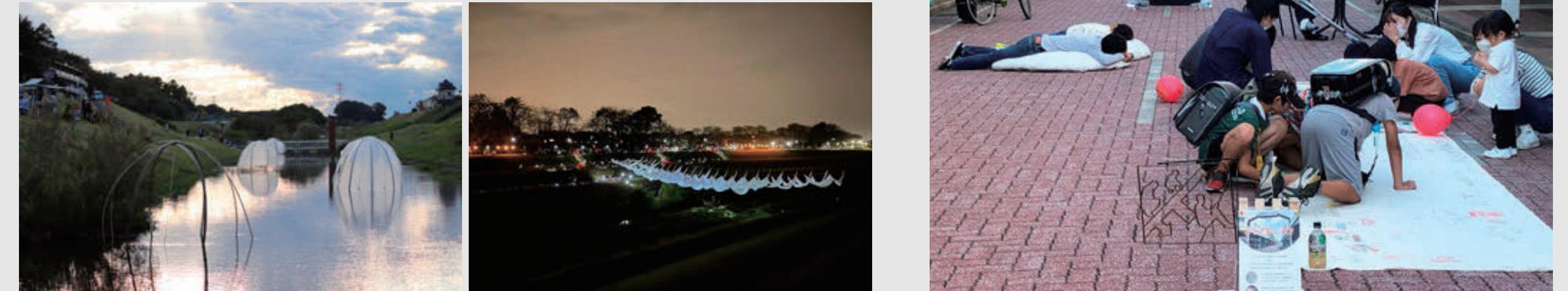
神楽坂

- 老舗の女性店主等で組織される**神楽坂文化振興会**参
- 花街を代表する建築である料亭うを徳（2022年閉店）、神楽坂組合事務所（旧見番）を実測調査し、建築模型を作成・地域で展示
- 「外濠」の再生と活用に関する諸活動（外濠再生懇談会、外濠水上コンサート「奏」、住民ワークショップや水辺活用イベントなど）参加（2016年～）



野田

- 利根運河シアターナイト** 創域理工学部建築学科有志の学生が中心となり地域の方々と作る、官民学連携の交流の場づくり
- 江戸川台商店街**（千葉県流山市）歩行者空間化の社会実験に学生たちと協力・参加
- 流山市の**江戸川台駅東口周辺地区再整備事業**に参加



▶今後の展開

- 都市・建築を対象とする研究者間で連携し、**実践的な研究と地域還元**を進める
- 葛飾区での旧教育資料館（旧水元小学校校舎）再生計画については、具体的な耐震改修の計画に進められるよう、区と協議する体制を整える（地域連携室と協力）
- 富山県木材研究所との官学連携事業を推進する
- 神楽坂、野田エリアにおける地域活動、研究を継続し、地域における大学のプレゼンスを高めていく



東京理科大学
TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

RIST TUS
Research Institute for Science & Technology

【連絡先】研究部門長
工学部建築学科
栢木 まどか
kayanoki@rs.tus.ac.jp